新年号

会報1月号ヘッドライン

平成３０年　新年のご挨拶

新年を迎え会員の皆様にご挨拶申し上げます。

昨年は東洋療法推進大会 in 京都での事業活動が中心でした。本年は会員が期待する事業活動、他団体との共同事業、業界の指針を協議、公益団体としての責務を果たして行きたいと思います。

経済格差や世代間の認識の違い、高齢化と人口減少といった社会問題も含め、現実に横たわる様々な分断に今後どのような戦略、対策が必要か。個人利益だけに執着していては業界の発展はありません。

会員間、他団体等異なる考えや価値観を持った人たちが交流する空間

をどう作り出すか、相互理解のもと共同体の構築が必要です。「交流する空間」「運命共同体としての組織」目指すべきものが一緒の皆様と本年も挑戦をつづけて参りたいと思います。
我々の未来の為には社会貢献は欠かせません。どのような社会貢献を目指すのか。健康の大切さを病気になる前に気づいてもらえる社会を目指し、驚きを伴う喜びをみんなで感じる活動を、後に続くものがいるから組織として行動しましょう。本年も御協力をよろしくお願いします。

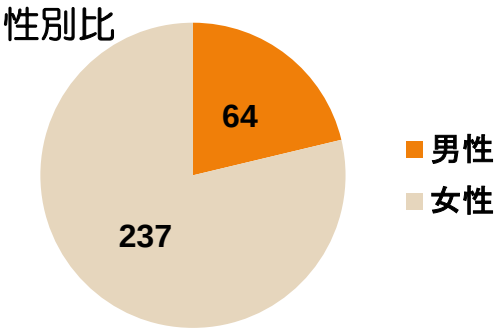
【公益社団法人　京都府鍼灸マッサージ師会　代表理事　朝田　聖二】

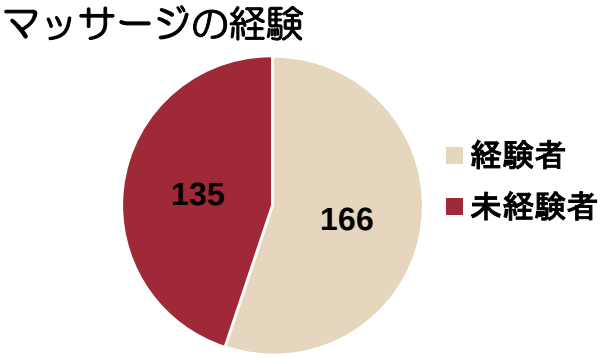
会活動・会員活動・ニュース

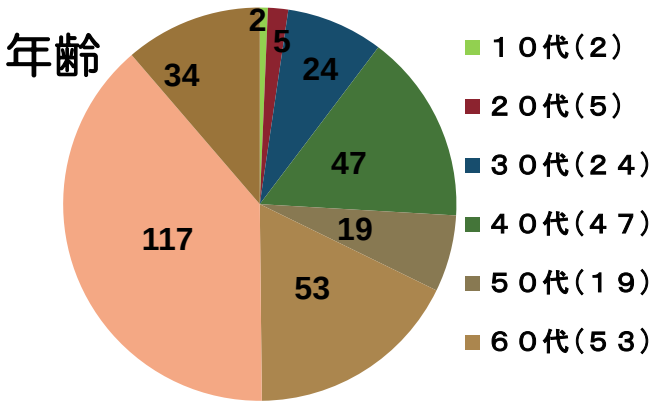
【ふれあい山科区民まつり2017】報告

　１１月２３日(祝日)山科中央公園にて『ふれあい山科区民まつり２０１７』が開催され、健康長寿ゾーンにマッサージ体験コーナーとして参加致しました。

前日が大雨のせいで会場はぬかるんでおり、あまり良いコンディションとは言えず、来場の方々の出足も悪かったのですが、１０代から８０代の約３００名の来場者にマッサージの体験をして頂きました。と、同時に無資格者の啓発チラシ・ウェットティッシュ等を配布し、アンケートの実施を致しました。マッサージの経験のある無しに関わらず無資格者の横行を知らない方が多いようで啓発用のチラシのセットは大変役に立ちました。
　体験を受けられた方々はそれぞれ「楽になった」「気持ち良かったよ」等、感謝の言葉を頂きました。
今回は会員１５名、会員外１名の先生方にご協力頂きました。ありがとうございました。感謝致します。
アンケートの結果 報告です。
アンケート集計(３０１名)







【洛東ブロック　　大堀尚代】

人間を救うのは、人間だ。
Our world. Your move.

第４回　京都府災害鍼灸マッサージコーディネーター研修
オープン講座開催報告

　１２月１６日　鍼灸地域支援ネットの企画により京都社会福祉会館にて開催されました。
本会の会員６名と、京都府鍼灸師会・滋賀県鍼灸師会・京都府理学療法士会の仲間と合同で熱く学びました。
　講議は高槻赤十字病院救急部部長・循環器科の岡本文雄先生による「エコノミークラス症候群の見極め」、武蔵野赤十字病院救命救急センター救急部長・日赤災害医療コーディネーターの勝見敦先生による「災害時の避難所評価について」。
　勝美先生は、わざわざ遠路東京から車いすで会場に足を運んでいただき、両先生の災害現場での体験を絞り出されるかのような講義に皆真剣に学びました。
また、勝美先生の被災者を救えなかった悲しみと、救助後に再会された人との出会いに涙を流される姿に、参加者全員のたましいが揺り動かされました。
　エコノミークラス症候群をいかに見つけるか、いかに対処すべきかを具体的に学び、避難所情報収集を目的にアセスメント票を使ってのグループワークなど、活動初期からその後の対応まで学ぶ貴重なセミナーでした。

グループに分かれてアセスメント票記入、課題を出し合う参加者

【広報部長　田口幸三郎】

出張理事会報告（南京都ブロック）

１２月９日、午後１時３０分からの定例理事会終了後、出席理事全員で会館の掃除をおこなった後、宇治市の「花やしき浮舟園」にて会員との交流懇親会を開催しました。会長以下理事、南京都ブロック会員をいれて８名の懇親会ではありましたが１２時過ぎまで NHK の問題を含め多義にわたる本音の話し合いが出来ました。翌日は、（無免許業者のチラシについて）（はり・きゅう・マッサージ保険の話）（慢性的な腰痛や下肢の痛みを運動療法で改善）というテーマで、午前９時過ぎから１２ 時３０分まで途中の休憩５分でそれぞれを山﨑理事・江田理事・華学和博先生を講師に非常に内容の濃い講義を受けました。

南京都ブロックの石井正先生も参加してくださり、特に華学先生の講義は実技も沢山あり汗をかくほどの楽しい講義でした。当会会員にはまだまだ多くのユニークな特技？を持って居る先生が多い事を再発見した半日でしたが、参加会員が少なかったことが心残りでした。

【南京都ブロック　辻村猛】

「西京区民ふれあいまつり」参加報告

１１月１８日（土）に京都市西文化会館周辺で行われた「西京区民ふれあいまつり」に無料マッサージ体験ブースを設け、参加させていただきました。

参加協力の先生方 ９ 名（敬称略）　朝田、井上、吉舎、木村、田中、並木、森、山内、久保。午前中雨が降り、かなり冷え込

んでいたせいもあり、来場者数も少なく、受療者数も昨年より少なく８８名の方にマッサージを体験していただきました。
ゆっくり時間がとれたので、体のケアの仕方等話しながら施術ができ、「また治療院でマッサージが受けたい」という声も多数いただきました。
　土曜日でお仕事がお忙しいなか、８名の協力していただいた先生方、本当にありがとうございました。
【洛西ブロック長 久保裕之】

法 制 だより　今月の報告

１．指導要請
（１）京都市　医務衛生課へ１２件
　　無免許者による違法広告　２件
　　無免許者による違法業務　１件
　　無免許者による違法広告、違法業務　２件
　　有資格者による違法広告　４件
　　有免許者による違法広告、違法業務　３件
（２）丹波保健所へ１件
　　無免許者による違法広告、違法業務
（３）中丹西保健所へ３件
　　無免許者による違法広告、違法業務
　　有免許者による違法広告
　　有資格者による違法広告、施術所名確認
（４）中丹東保健所へ３件
　　無免許者による違法広告
　　無免許者による違法広告、違法業務
　　有免許者による違法広告、違法業務
（５）奈良市保健所へ１件
　　無免許者による違法広告
２．啓発活動
　　１１月２３日（木）ふれあい山科区民まつり
　　チラシ、ウェットティッシュの配布
　　参加者の皆様、お疲れ様でした。
３．抗議文の提出
　提出先　日本放送協会（NHK）
　平成２９年１１月２４日、NHK 番組「ドキュメント７２時間・コリにまつわるエトセトラ」において、「りらくる」を舞台とした無免許者によるマッサージと思われる業務が放送され、国民が事実と誤認を招く内容が確認されましたので、抗議文を提出しました。
　（抗議文は別紙参照）

◇◇◇　会員の皆様～法制部へ情報提供をお願いします　◇◇◇
無免許業者によるビラやチラシ等の案内、看板、施術等の情報提供を

本会事務所へお寄せください。
TEL 075-803-6078　　FAX 075-821-2390

【法制部長　山﨑宣彦】

お 知 ら せ

平成29年度府市民健康文化講演会開催のご案内

日　時　平成３０年3月１８日　日曜日　１４：００～１６：３０

場　所　京都福祉会館第５会議室（二条城北側）

テーマ　「医者要らずの健康長寿処方箋」

内　容　医者要らずの血管マッサージ健康法
医者や薬に頼らず人間が本来もっている生命治癒力を使い「何時でも何処でも簡単にただで出来る方法」を紹介します。

講　師　健康科学研究所所長
大阪市立大学医学部名誉教授

井上　正康　先生

参加費無料です。多くの方のご参加をお待ちしております。

【学術部】

会 員 掲 示 板

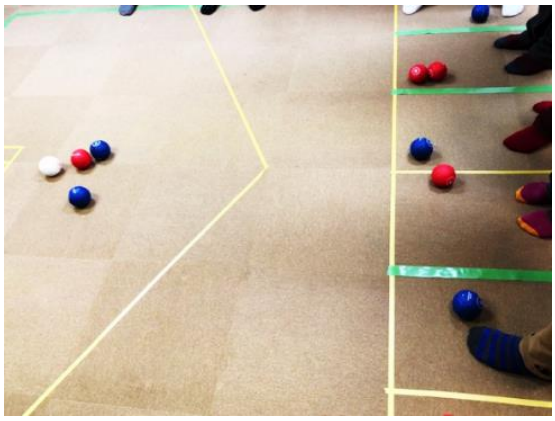
様々な取り組みに参加してます。

「関東ボッチャ選手権神奈川県大会」
コンディショニングケアブース運営の事前講習会へ参加

１２月２日（土）朝９時から１２時、神奈川県東急東横線新丸子駅「丸子多摩川いこいの家」において横浜ボッチャ協会の川崎妙子会長による「関東ボッチャ選手権神奈川県大会におけるコンディショニングケアブース運営」について事前講習が開催されました。

冒頭、朝日山実行委員長の挨拶に始まり伊勢山神奈川県師会会長、小川全鍼理事の後、川崎横浜ボッチャ協会

会長よりボッチャ競技の説明を兼ねたゲーム体験が実施され、私も初回ゲームの審判を体験、勉強して参りました。



ボッチャはパラリンピックの中で唯一重度脳性麻痺者、またはそれに準ずる四肢重度機能障害者の為に考案された満１３歳以上の方々によって競われるスポーツです。ルールは単純ながら白いジャックボール、赤青のカラーボールをコントロールして投げていきますが、狙うところでボールを止めるには相当の技術が必要です。参加した２４名の先生方とお互いに審判・選手を体験し合いました。

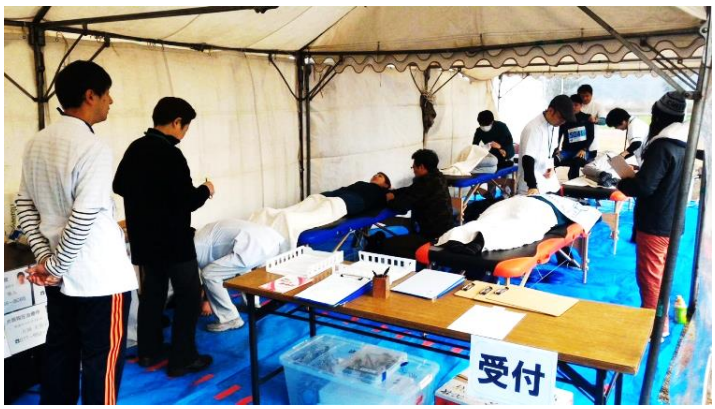
和気あいあいの雰囲気でしたが審判による厳密なボールの距離計測や、場面によってかける適切な言葉を習いました。講習後に神奈川県限定準初級審判員の認定証を頂きました。京都を含め近畿でも、このような障害者の大会にマッサージケアとして参加出来る様しっかり勉強していきたいと思います。

【洛中ブロック　吉舎定良】

「栗東ファミリーマラソン大会」
ランナーはり・マッサージボランティア参加報告

去る 11 月 23 日（祝）、滋賀県栗東市「くりちゃんファミリーマラソン」が野洲川運動公園陸上競技場を会場として開催されました。２ｋｍ、３ｋｍ、５ｋｍのクラスがあり、野洲川の河川敷にある立派なトラックを周回して完走を目指すという市民の健康増進の一環として長く続いている大会だそうです。栗東鍼灸マッサージ師会の会員さんたちが市の依頼を受けて始められたボランティアで、京都マラソンボランティアへ参加協力を頂いている先生からお誘いを受けお手伝いしてまいりました。

ボランティアの最初にいつも勉強会を兼ねておられるそうで、日頃私が行なっている手技を「仰臥位における上肢・肩甲骨周囲へのアプローチ」と題して披露させていただきました。視覚障碍者の先生方には実際に患者となり体感していただきました。



勉強会の間にも来場者がお見えになられたので手短に終え、ボランティアを開始。お昼までの短い時間でしたが、合計 58 名の方に体験していただきました。

子育て世代の参加者も多く、育児の大変さが体から伝わって来ます。子供さんの姿勢を心配してご相談されるお母さんもおられ先生方も休む間もなく対応されていました。

次の世代にも「はり・マッサージ」の良さを体験してもらえる時間がつくれるのは大変有難く思います。

【スポーツケア部　戸中照之】